

ミャンマー連邦共和国 概要

2016年4月20日

ところざわ倶楽部 会員

田中建夫

目次

- 1) 国情
- 2) 主な歴史＋民主化の経緯
- 3) 総選挙と連邦議会
- 4) 政治体制
- 3) 多民族国家
- 4) 気候と市民生活
- 4) インフラ・産業と周辺
- 5) 観光
- 6) その他
 - 泰緬鉄道
 - インパール作戦
 - ミャンマー合弁会社

ミャンマーの国情

首都: ネーピードー

人口: 6,500万人(2013年IMF)

面積: 678,000km²(日本の1.8倍)

識字率: 92.7%

宗教: 仏教(89.4%)、キリスト教(4.9%)、イスラム教(3.9%)

政体と政治改革: 大統領制(任期5年、総選挙2015年11月8日実施)

大統領=テインセイン (USDP党)軍政No.4

⇒テインチョー(NLD党)アウンサンスーチー氏の側近

改革点: ①民主化勢力と少数民族との和解、②中央集権から地方分権への移行、③経済・貿易・投資に関わる法、物流および制度整備、など

治安: 問題無し、人口ピラミッド⇒15歳~64歳=4000万人(67%)

政治課題: ①新体制による政治的安定性

(USDP党、NLD連盟&少数民族党)

②反ムスリム運動

③インフラ整備

主な歴史

- 6～7世紀 モン族現ミャンマー南部に定住(ピュウ王朝)
- 8世紀 ビルマ族、雲南省より南下、現ミャンマー中部に定住
- 9世紀 ビルマ族、バガンを築城(ピュウ王朝消滅)
- 11世紀 バガン王朝全盛期(上座仏教布教)
- 13世紀 フビライカン征服(バガン王朝消滅)
- 15世紀 モン族がバゴー王朝建国(下ビルマ)
- 16世紀 後期バガン王朝建国
- 19世紀 2回にわたる英緬戦争にて北部中心にイギリス統治拡大
- 19世紀 マンダレーに遷都
- 1885年 3次英緬戦争、英国植民地支配を開始
- 1941～1945年 日本軍進出(大東亜戦争)
- 1948年 ビルマ連邦共和国として独立 首都ヤンゴン
- 1962年 軍事クーデター発生、社会主義始まる
- 1988年 社会主義消滅→民俗主義国家
- 1989年 国名の英語表現を「Burma」から「Myanmar」に変更
- 2006年 首都「Yangon」(ヤンゴン)から「Nay Pyi Taw」(ネイピードー)に遷都
- 2010年 「Myanmar」→ 「Republic of the Union of Myanmar」

民主化を巡る経緯(参考)

- 1988年4月 スーチー氏英国より帰国、大規模民主化運動発生
- 1988年9月 国軍がクーデターで全権掌握、
スーチー氏が国民民主化連盟(NLD)書記長
- 1989年7月 スーチー氏自宅軟禁(~95年7月)
- 1990年5月 総選挙でNLD圧勝、軍政は結果を拒否
- 1991年12月 スーチー氏ノーベル平和賞受賞
- 2000年9月 スーチー氏自宅軟禁(~02年5月)
- 2003年9月 スーチー氏自宅軟禁(~10年11月)
- 2007年9月 僧侶10万人デモ、軍政弾圧
- 2008年2月 軍政が新憲法案の完成を発表
- 2010年11月 総選挙で軍政側が圧勝
- 2011年3月 民政移管し、与党USDPのテインセイン大統領就任
- 2012年1月 スーチー氏がNLD党首となる
- 2012年4月 スーチー氏が下院補選で当選(次ページ)
- 2015年11月 総選挙実施、NLD党が圧勝

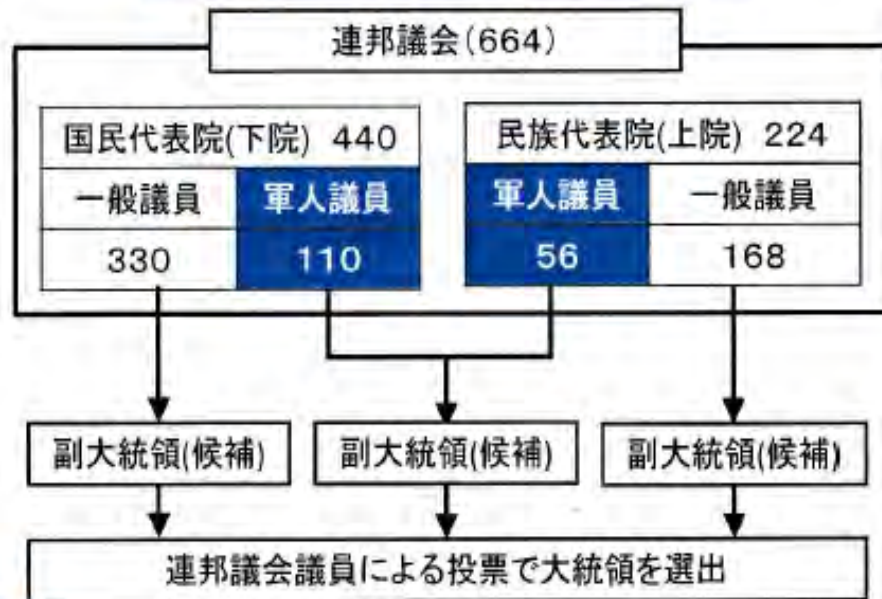
ミャンマー連邦議会 総選挙

2015年11月8日ミャンマー総選挙実施。スーチー氏率いる野党(NLD)は、軍人議席(56+110)を除く一般議席(168+330)のうち333議席を獲得、勝利。

国民の多くは、とにかく変革を求めた結果であって、必ずしもスーチー氏の力や候補者たち(駒)を信じて押したわけではなさそうである。疑心がありそう。

今後は、軍人議員を含め、USDP党との協調が無いと、経験不足などから政権運営に重大な支障をきたす可能性がある。(かつての民主党政権) (田中)

連邦議会の構成と大統領選出方法



2012年4月補欠選挙結果

国民代表院(下院)	NLD(37選挙区)
民族代表院(上院) (全6選挙区)	NLD(4選挙区) USDP(1選挙区) SNDP(1選挙区)
地域・州議会 (全2選挙区)	NLD(2選挙区)

NLD: 国民民主連盟
USDP: 連邦連帯開発等
SNDP: シャン民族民主党

ミャンマー政治体制

総選挙後の新体制確立 20160315

＜連邦議会投票結果＞

大統領: ティン・チョー (360票)

副: ミン・スウェ (213票)

副: ヘンリー・ヴァン・ティオ (79票)

New Ministry of Ethnic Affairs:

36⇒21 (Sliming)



現憲法

内閣	国軍司令官が重要閣僚の国防、内務、国境の3大臣を指名	
国防治安評議会	政府、議会、国軍を代表する11人のメンバーのうち、軍関係者が過半数を占める	
議員構成	上下両院の25%の議席を軍人に割り当て	国軍に事実上の拒否権が与えられており、同意がなければ憲法改正は不可能
憲法改正	国会議員の75%超の賛成が必要	



仏教による多民族国家(連邦共和国)



「多民族」

大小合計で約135の民族がそれぞれ州を中心に居住 ⇒ 次ページ参照

「女性の社会進出」

役人にも教員にも女性が多い
(大学教員の約8割が女性で、会社でも多い)
(大卒男性は海外出稼ぎの多いことも一因?)

「八曜日」

何曜日に生まれたかが需要、お祈りも準拠する
「時差と通貨」

2時間30分。Kyat(チャット) = 約10分の1円



多民族国家 主な民俗

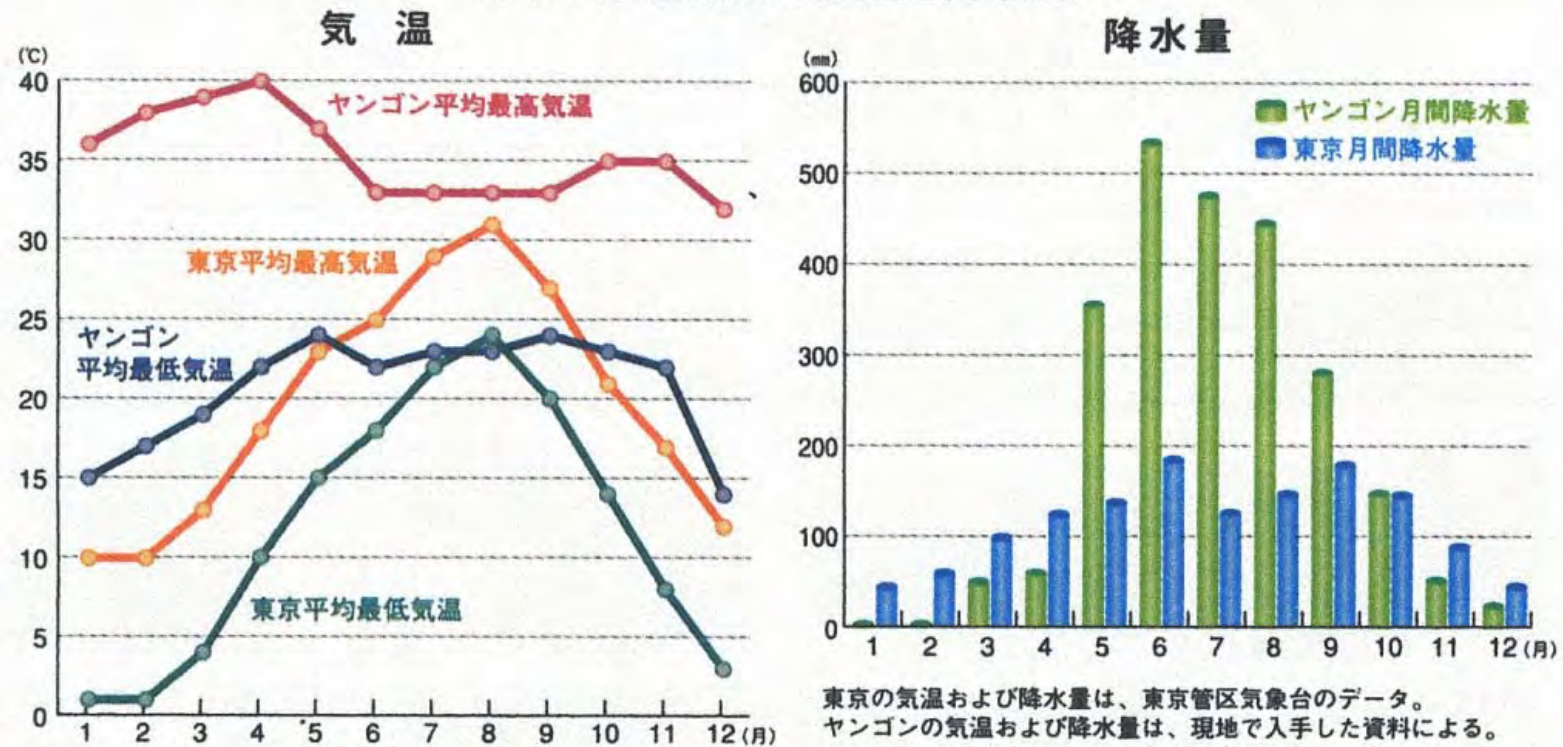


気候

国土が南北に長い地域によってかなり異なり、基本的に中部から南部にかけて熱帯、北部は温帯。外国人が

特別の許可なく旅行できる地域は、年間を通して高温多湿なところが多い。

ヤンゴンと東京の気温と降水量



市民生活

水掛祭り=4月上旬



一般に生活は貧しい、貧富の差が極端



1998年5月

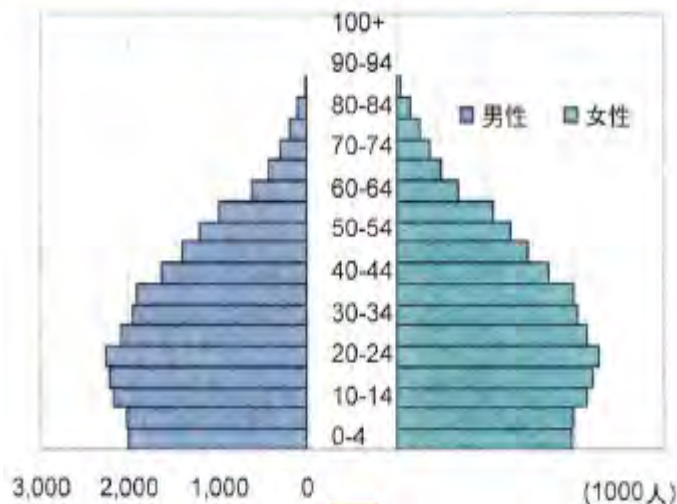
ミャンマーのインフラ・産業と周辺

1. 電力＝不足⇒停電多発
(農村部は電気無し)
2. 通信＝携帯、WiFiは都市部で50%
(通信途中で切れる)民間で増強中
3. 水道＝都市部のみ⇒飲料水は購入
4. 交通＝道路⇒狭い、交通事故多発
5. 鉄道＝古い、速度30km⇒
観光はツアーバス移動が良い
6. 港湾＝増強中、新設中
7. 資源＝タイ向け天然ガス4割、他農産物
8. 産業＝縫製品が主、工業化遅れ(インフラ遅)

1. 治安は良好
2. 仏教徒で柔和
3. 若い労働人口が高い
4. 識字率がきわめて高い
5. インフラ事業が急発信

識字率(90%)の高さ・高い英語力などコミュニケーションの容易さという点では、カンボジアやラオスなど他の新興諸国を上回る。

年齢別人口構成比



24歳以下の人口が全体の44%と若い。
生産年齢人口(15~64歳)は2030年にかけて増加が見込まれる。

出典: MU

水力発電ダム

- ミャンマー領内に水力発電ダムを建設。電気を送電線で中国へ輸出。シュウェリー水力発電No.1完成(中国へ80%, 国内で20%の電力を使用)。No.2を建設中。
- タペイン水力発電ダム(中国大唐集团公司)はカチン独立軍(KIA)と国軍の戦闘で**建設中断**。ミツソン水力発電ダム(中国電力投資集団)は、2011年9月30日にテインセイン大統領が**建設凍結**を宣言。中国電力投資集団は他に6つの水力発電ダムの建設を計画。

ダム計画が最終的に中止になるかどうかの鍵はNLD党首スーチー氏の考え



(Source) Irrawaddy, Sept. 3, 2011.

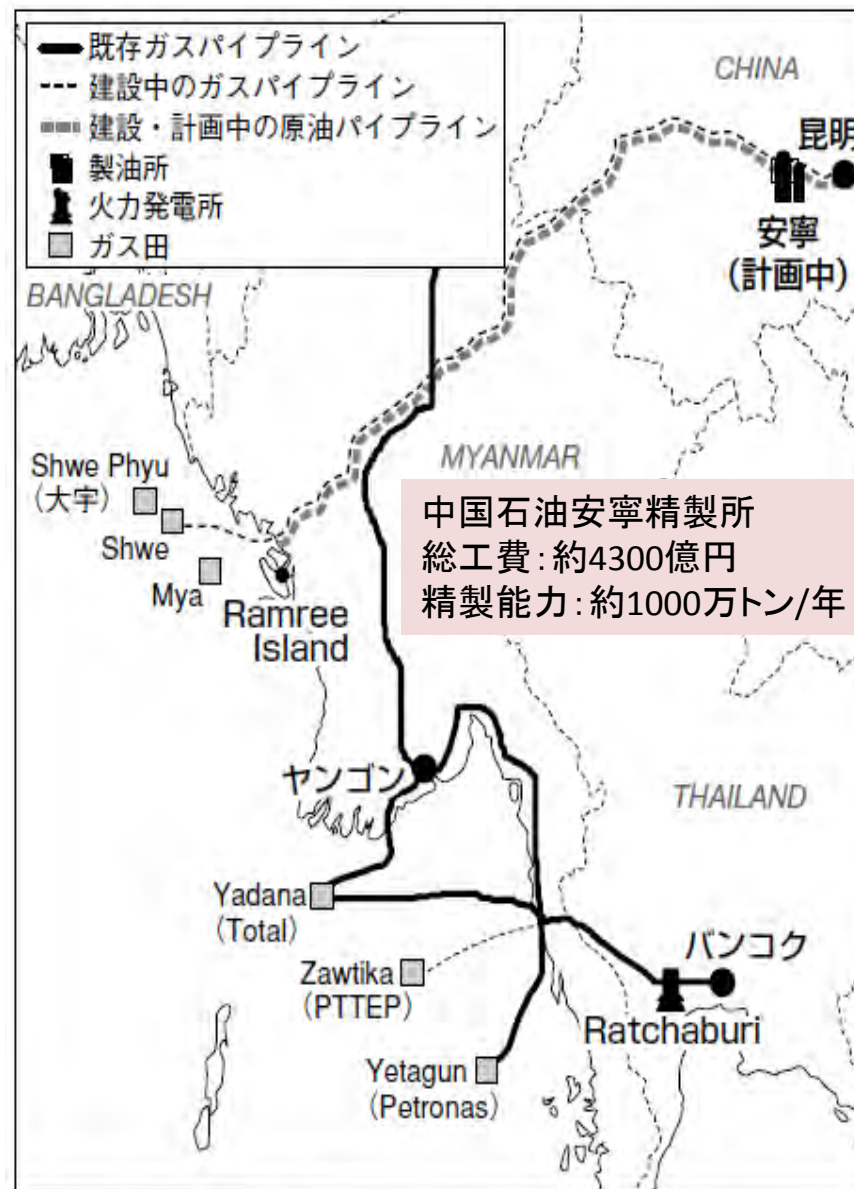
エネルギー(ガス)

ガスパイプライン(中国-ミャンマー)

2013.6.5 [中国] (msn 産経ニュース)

- 5日付の中国紙、新京報などは、雲南省とミャンマー西部のベンガル湾に面するチャウピューを結ぶ全長約1100キロの天然ガスのパイプラインが完成、いつでも稼働を始められる状態になったと報じた。並行する原油パイプラインも数カ月後に完成する見通し。
- 当初は5月末に完成する予定だったが、昨年末にミャンマー北部カチン州で起きた政府軍と反政府少数民族武装勢力「カチン独立軍(KIA)」の戦闘などの影響でずれ込んだという。
- 天然ガスのパイプラインは年間120億立方メートルを輸送することができ、昨年の輸入量の約4分の1をまかなえるという。
- 中国は中東諸国から輸入する天然ガスと原油を、マラッカ海峡を通過せずにミャンマー経由で輸送できるようになる。(共同)

図表4 主要沖合ガス田とパイプライン



出所: 各種資料より作成

経済回廊(中国の戦略)

- ・TAPI 天然ガスパイプライン
1800km、約1兆2000億円
- ・中パ経済回廊(カラコラムハイウェイ)
海への大動脈
インドは戦略的に沈黙



物流



タイからダウエイまで陸送し、ダウエイで船積みすれば、マラッカ海峡を経由せずに輸送日数は3日短縮、輸送コストの削減も期待できる。

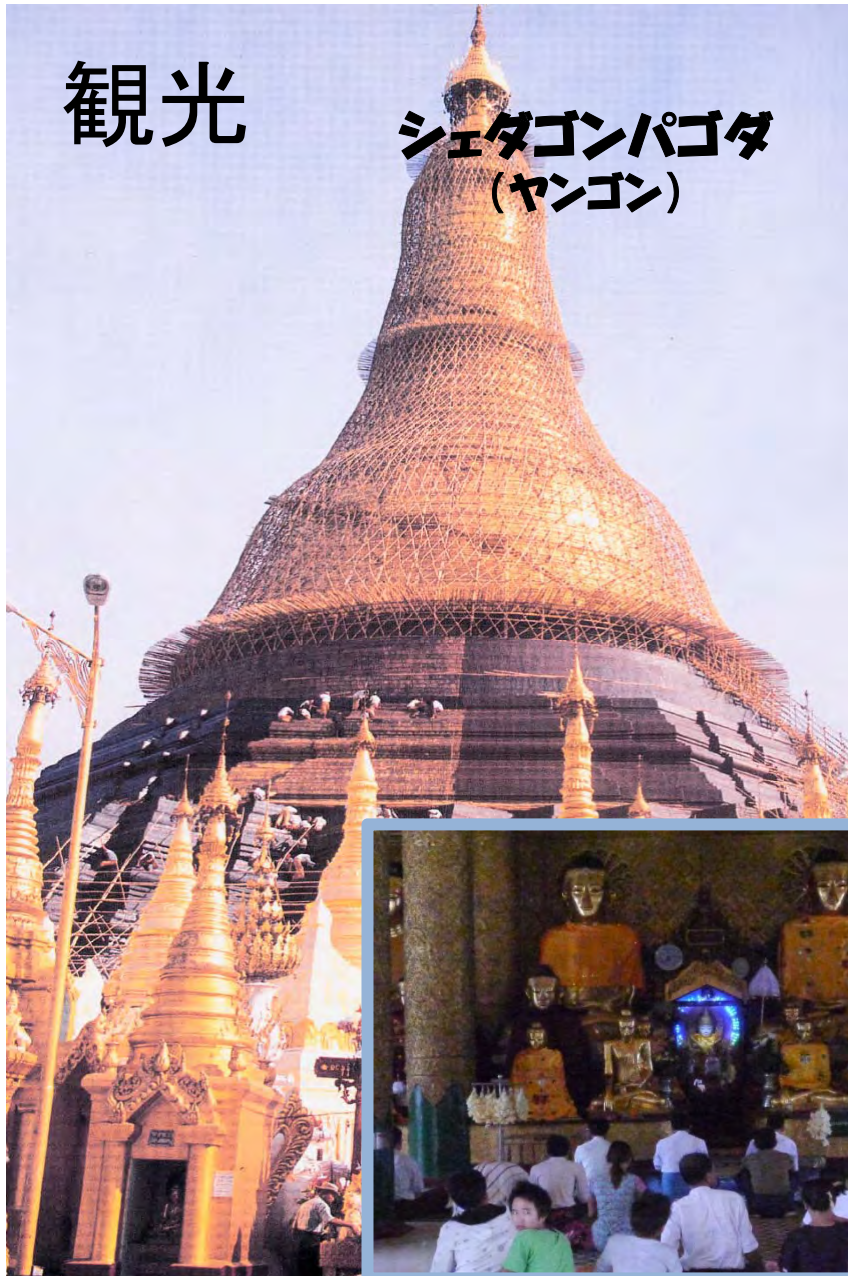
世界の物流が変わる
ミャンマーを活用した新物流ルート

観光



観光

シェタゴンパゴダ (ヤンゴン)



「お土産」

- ・日本の支援(JICA)による「そば」と「焼酎」
(ケシ栽培を禁止し、麦栽培に切り替え)
- ・漆器
- ・クッキー
- ・タナカ日焼け止めクリーム



アウンサウン将軍の旧自宅
(今は展示館)

90%が敬虔な仏教徒

遺跡群

